

東龍大郎 あづま たろう 生理學者、醫學博士。明治二十六年一月十七日大阪  
 阪生れ、昭和五十八年五月二十七日没（八九三—一九三）。大正八年東京  
 帝國大學醫科大學卒。イギリス、ロンドン大學公保健學と體育生理學とを  
 専攻。昭和九年東京帝大教授、戦時中は海軍司政長官、戦後厚生省醫  
 務局長、日本體育振興會會長となり、二十五年I.O.C（國際オリンピック  
 委員会）委員に就任。茨城大學・東邦大學各學長を經て、二十四年  
 東京都知事公選選、二期務めオリンピック東京開催に盡力。四十一年  
 日本赤十字社社長。

著書『オリンピック』(昭和二十七年五月十七日わせた書房)等。

